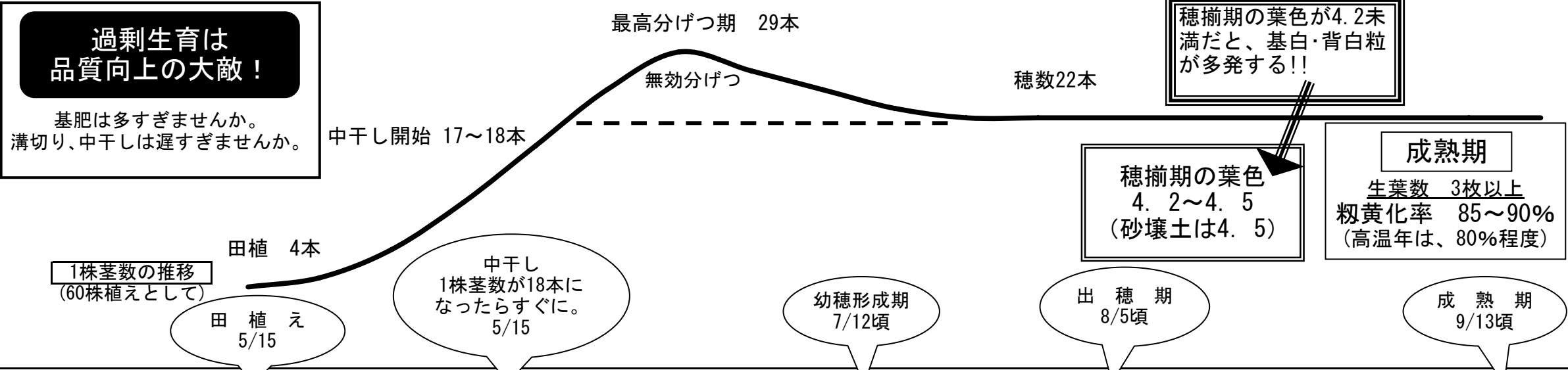


コシヒカリの栽培基準

生育経過



月日	4月 25	5月 5 10 15 20 25	6月 5 10 15 20 25	7月 5 10 15 20 25	8月 5 10 15 20 25	9月 5 10 15
出穂後日数等				過剰着粒数危険期 (-15) (-8)	(0) 白未熟粒注意	
草丈 (cm)		25	35 45 55	65 75 80	88 (稈長)	
葉令		5.5 6.5	8.5 10.5	11.5 12	14 (13)	
水管理	代かき	田植後の深水 田植え	活着後の浅水	中干し	間断灌漑 (ため水はしない)	湛水管理 (フェーン時の水不足には注意)
						落水

栽培管理のポイント

浸種は4月9日、播種は4月23日

① 乾籾120g/箱の薄まきで播種
② 灌水をやり過ぎない
③ 十分な換気を行う
④ 育苗後半の温度は日中20~25℃とする

5月15日を中心に田植を実施

※中山間地では連休植えて

- 栽植密度 60株 (中山間地は70株/坪)
- 植付け本数 3~4本/株
- 植付け深さ 2~3cm

溝掘り ※水の抜けにくい所は、溝の本数を増やす

初期分げつ確保の後、適期の中干し

○ 一度に強く干すなどの極端な中干しをしない (特に砂質浅耕土や中山間地では干し過ぎないように注意!)

中間追肥の施用 (ケイ酸分の補給)

○ 溝の手直し

※極端な色ざめが生じた場合はつなぎ肥で対応する

一斉草刈り

穂肥の適正施用

1 回目の穂肥 ↓ 幼穂長15mmの時
2 回目の穂肥 ↓ 1 回目の7日後

※出穂前の葉色が淡い場合は、出穂前穂肥を検討する

基本防除の徹底

○ 穂揃期
○ 穂ばらみ期 (出穂直前)

刈取りの5~7日前まで間断灌水 (排水不良田では、秋作業の地耐力を考慮する)

出穂20日間は、湛水管理

適期に刈る!

○ 籾水分や立毛胴割の発生に応じた乾燥調製を行う

地力増強のための土づくり

- 1.9mmの網目で選別する

① 堆肥等の有機物を施用する
② 土壌改良資材を施用する
③ 秋耕しを行う

早い穂肥は、過剰着粒と乳心白等白未熟粒発生のもと